



ADR模擬調停の実施と、ADR認証手続きの準備について

北海道行政書士会 ADR推進委員会委員長
酒井 正

ADR機関認証については、昨年11月、道弁連との協定手続の準備に入り、若干難航していたところですが、ここに来て急速な発展が見られましたので、経緯をご報告させていただきます。

去る9月7日、日行連ADR推進本部主催、北海道会共催によるADR模擬調停が、教育文化会館において開催されました。この模擬調停は、全国のADR機関認証を近く予定している単位会を対象に開催されているもので、道弁連との協定が進展していない中でいわば異例の実施でありましたが、道弁連推薦により、札幌弁護士会から2名の弁護士(坂本泰朗先生・丸尾正美先生)にご出席頂き、更に日弁連からは、日弁連ADR委員長の渡部 晃先生が、わざわざ

東京からご出席くださいました。東京会のADR委員の皆さんの完成された模擬調停を見学し、ご出席の2名の弁護士から貴重なご講評を頂いて、無事成功裏に終わることが出来ました。

現在、弁護士会のADR委員会と当方の委員会とで協定文書・規則関係の細部の打ち合わせ中であり、年内をめどにお互いの会が協力してよりよい関係を築いていけるよう話し合いを進めていこうと思っております。法務省との事前打ち合わせを年明けあたりに開始し、年度内に認証申請が出来ればと予定しておりますので、皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



酒井委員長



深貝名誉会長